

平成30年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	府中町立府中小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・バランスよく食べることの大切さを理解している児童も多く、嫌いな食べ物をも頑張って食べられるようになった児童もいた。しかし、それを実践に結びつけることが難しい児童も少なからずいるので、給食時間や授業での指導を引き続き継続する。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・根っこを深く！太く！広く！育てるために自ら判断し、望ましい食習慣を実践できる児童を育成する。
- ・「生活リズムカレンダー」の取組により、栄養バランスのとれた朝食を摂取する児童を80%以上とする。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）栄養バランスのとれた朝食

- ・食育参観日を2学期に全学年実施した。発達段階に応じて朝食についての授業を行い、親子でバランスのとれた朝食について考えた。
- ・食育参観日の懇談会で具体的な資料を示して、朝食を話題にした。
- ・給食試食会で朝食に関する話をし、保護者に栄養バランスのとれた朝食の大切さを啓発した。
- ・給食だよりや掲示板を利用して情報発信をした。

【取組2】（テーマ）体験学習を重視した食に関する指導の取組

- ・生活科で1年生は、給食のお手伝いとして「そらまめ」「ピーマン」「とうもろこし」の皮むきや種取りを行った。その後、自分たちが下処理した野菜を給食で使用し、全校児童で食べた。
- ・2年生は、「グリーンピース」の皮むきをし、豆ごはんとして給食に出した。
- ・1年生の国語科の「サラダでげんき」の「りっちゃんサラダ」を給食で全校に提供し、1年生はバイキング形式で自分たちが作って食べた。

【取組3】（テーマ）教科等における食に関する指導の充実に向けた取組

- ・6年生が家庭科で「府中小オリジナル給食メニュー」を考え、給食で実施した。
「栄養バランス」「給食の約束」「食べる人の気持ち」の3つの献立作りのポイントをふまえ、班ごとにメニューを作り、その中から1つ、クラス代表メニューをクラス全員の採点で決定し、給食で実施した。
- ・各学年の学級活動で、絵カードや実物の野菜・食器など教材を工夫して児童が興味関心をもって活動できるようにした。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

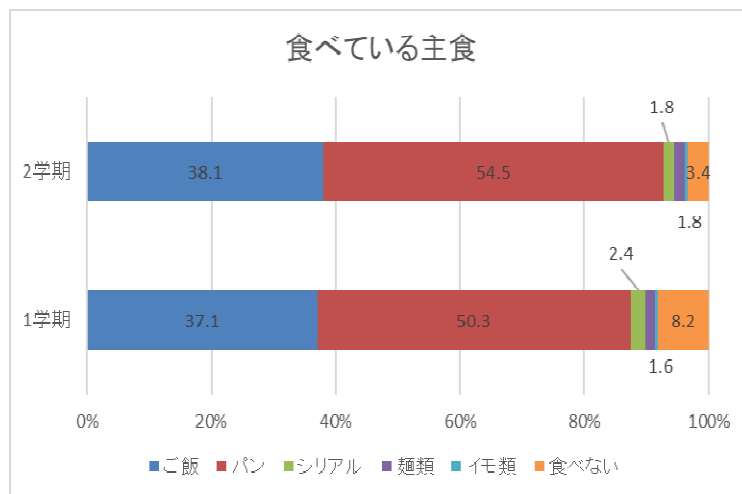
- ・給食だよりで保護者に周知した。
- ・食育掲示板に掲示した。
- ・府中町で共通の献立を作成し、実施した。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

・食育参観日に親子で朝食について考えたり、給食だより等で朝食の大切さを啓発したりした結果、「生活リズムカレンダー」で栄養バランスのとれた朝食を摂取する児童の割合が84.5%となり目標値である80%を超えることができた。今年度は主食に注目をした。

1学期は主食として食べられているのはパンが50.3%であった。ごはん・シリアル・麺類と続く。主食を食べない日が8.2%もあり、昨年度2学期は1%だったので大幅に増加していた。そこで、保護者の給食試食会や食育参観日の学級懇談で主食の大切さについて啓発を行ったところ2学期には主食を食べないのは3.4%に下がった。



- ・一人一人の楽しい食への挑戦を目指すよう、苦手な児童が多い低学年で野菜とふれ合う体験活動を重視した食育を実施したり、学級活動でクイズやゲームを取り入れたりして、より児童の食育に対する興味関心や知識を高めさせるようにした。また、毎月、誕生日給食としてリザーブ給食を実施したり、郷土料理や世界の料理を提供したりして、児童の食への関心を深めた。その結果、苦手な食材も少しでも食べてみようとする児童や給食を完食する児童が増えた。残食もほとんどの学年で1学期よりも3学期は減少した。

【課題】

- ・朝食は6年間の取り組みでバランスよく食べようという意識は高まったが、継続して啓発していかないと主食を抜く、3色のバランスはよいが、かまないものばかりなど、まだまだ課題は多い。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・栄養バランスのとれた朝食の摂取を家庭に理解し、継続してもらえるように、来年度も引き続き、取組を行う。
- ・健康安全部を中心とした食育推進の取組を推進し、児童自ら根っこを深く、太く、広く育てるために、自ら判断し、望ましい食習慣を実践できる児童の育成のための取組を、継続して行っていく。